

ご自由にお持ち帰り下さい。



# MY HOME DOCTOR

2010年

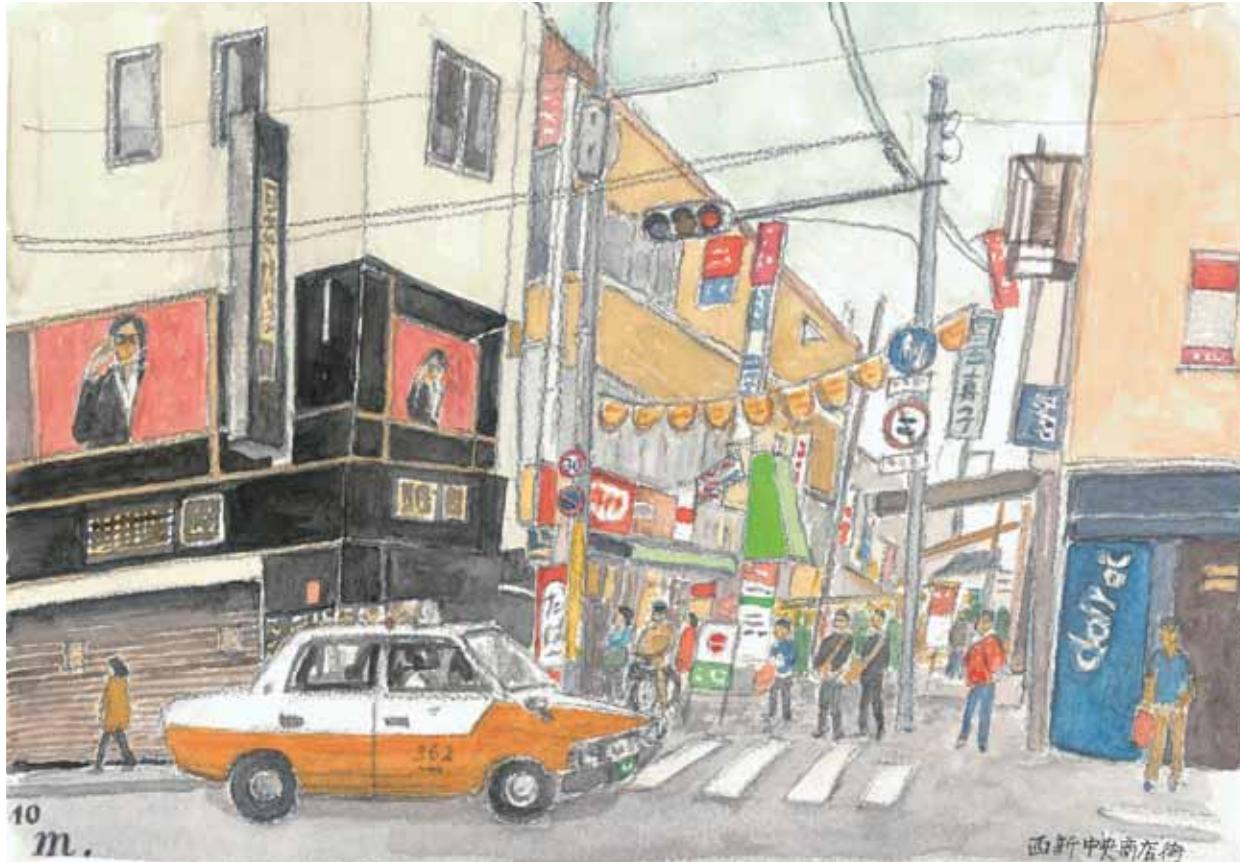
2月号

医療法人 西福岡病院



## 散歩道 西新中央商店街

リヤカー部隊でおなじみの西新中央商店街から西へ高取商店街、約1軒のぶらぶら歩きが楽しい。歴史の古い商店街に、新しいしゃれたお店も増えて来て、ヨン様の看板がニッコリ微笑んでいます。



## 西福岡病院の理念

私たちには、医療の基本に則り、更なる研鑽につとめ、常に地域の人々の立場に立った病院づくり、最適な医療提供を目指します。

(元福岡通信病院院長・内科医師)

きついながらも爽快な畠仕事は主として午前中、午後は自由を愉しむ時間と決めていましたが、「農夫」を暇な人間と思ったのか、近くに住む孫娘達の世話役にさせられ食事の用意や学習塾の送り迎えなどの雑事に忙殺されています。「晴耕雨読」とは程遠い日々ですが、お陰で料理の腕は上がり独り暮らしの準備万端整いました。畠を耕す体力がなくなつたら何処か山奥の無医村にでも行つて医業に復帰したいとも念つております。

難しい時代ですが人生の愉しみは可能なかぎり愉しまなければならぬと思つています。

## 健康 オクラの花

素晴らしい表紙絵の新年号を拝見し、安藤先生には健やかに米寿を迎えた。西福岡病院はめでたく創立五十五周年の由、重々お祝い申し上げます。

二十世紀最後の年に定年を迎えた私は「今後は畠を耕し脳を鍛えつつ老いを迎える覚悟です」と調子のいい挨拶をして医業を離れ農耕民族の仲間入りをしました。南に背振、東に油山を望む早良の地にさる篤農家より百坪ほどの田畠を借り指導を受けながら四季折々の野菜づくりに専念しております。結構な収穫で知人友人にもご笑味いただき好評です。野菜は花も楽しめます。なかでもオクラの花は抜群、黒い瞳の恋人のようです。



本村  
まさはる  
正治

会長 安藤  
宮原 精彌  
克良

## 特集

# インフルエンザについて

～平成21年12月8日 福寿園健康講話より～

老健施設西寿 施設長  
北原 靖久

地名の由来  
一二二話

インフルエンザが流行っています。毎年冬になるとインフルエンザが流行しますが、今年は夏からずっと新型インフルエンザが続いています。

そろそろ毎年流行的季節型インフルエンザの季節になりました。インフルエンザは怖い全身の病気です。かからないようにしっかりと予防し、もしかしたらば、しっかりと治療しなくてはいけません。

・問い 普通の風邪とインフルエンザとは、

・答える

普通の風邪は、咳、くしゃみ、鼻水、のどの痛みが中心の喉から上(上気道と言います)の病気です。熱はあつても37.5度以下の微熱で持病のない人ならほとんちは自然に治ります。いつも、インフルエンザは全身の病気で、頭痛、筋肉痛、関節痛などの全身の痛み、何ともいえない体のだるさなどの全身的な症状と40度近い高熱と悪寒を伴います。子供では脳症を、高齢者や病弱な人では肺炎を起こします。インフルエンザは、命に係わることもあるけつして軽く見てはいけない病気なのです。早期診断と早期治療が大切です。

・問い インフルエンザになる原因は?

・答える

インフルエンザは、インフルエンザウイルスで起こります。ウイルスというのは、細菌(フードウ球菌や大腸菌など、私達の周りで色々な病気の原因になっている微生物)の千分の1から十万分の1の大きさのもの凄く小さな生き物です。インフルエンザウイルスには、A型、B型とC型の3タイプがありますが、人で流行するのはA型、B型で、C型は流行しないので、ややひどい風邪として見過ごされています。A型ウイルスの粒子(ウイルスの場合細胞とは言いません)の表面は、HAとNAと呼ばれる二種類の突起で覆われています。HAには、16種の型があり、NAには9種の型がありますから、 $16 \times 9 = 144$ 種のインフルエンザが有ります。今までに人に病気を起こしたのは、HAの1型、2型と3型だけです。NAでは、1型と2型だけです。近年流行しているのは、HA1型でNA1型(略してH1N1型)、ソ連型)とHA3型でNA2型(H3N2型=香港型)とB型です。HAはウイルスが細胞に取り付くとき、NAはウイルスが細胞から飛び出すときに働きます。インフルエンザワクチンは、この

HAに取り付いてウイルスが細胞に入らないように働きます。

・問い インフルエンザの予防方法は?

・答える

インフルエンザウイルスは、自分で空中を飛びまわるわけではありません。くしゃみや咳の時に出るしぶきの中にいて、次の人には吸い込まれて伝染します。くしゃみなどで汚れた手摺りなどを触った手で鼻や口を触ったときなどにも伝染します。うがい、手洗いとマスクは、予防の基本です。特にマスクは大切で、確っている人が周りの人につつなぎ、為にも使ってもらいたいものです。これをせきエチケットと言います。手洗いは、風邪の予防にも役に立ちます。栄養のバランスに気を付け、特にビタミンが、不足しないように気をつけます。睡眠不足は抵抗力を損ないます。口頭から体力を付けておくと、免疫が出来易くなります。そして、予防の決め手は、ワクチンです。ワクチンは、流行しているA型のH1N1型、H3N2型とB型の成分が入っています。予防接種ワクチンを接種すれば、その冬は、大体免疫が続きますが、次の年までは持ちません。HA型は同じでもほんの少しづつ形が変わつてゆくから、毎年新しいワクチンが作られているのです。

当市大名町は明治通赤坂門から万町あたりを呼んでいましたが、維新前までは黒田藩の重臣・家老が主に住んでいた處でそれが大名のルーツである。最近は町を取り去り丁目で表示し区域が広くなつた。武士も上士の方、また学者など社会的にもハイクラスで戦前から環境が良く、学校も大名小は市NO.1の有名校でもあつたが少子化の時代で学校もなくなるらしい。

過日ある集まりでこの通り大体真中北側にある大銀杏の木の話が出た。戦後はここがボウリング場やファミリーストアになつたこともあるが、戦前は中野別邸とも、またその前の持ち主の名で飯田ドンとも言われた。

この銀杏のルーツは加藤清

す。その年のワクチンでないと効果が非常に弱くなります。

### 問い ( ) 予防接種ワクチンの効果は?

答え) 予防接種ワクチンを接種していてもインフルエンザに罹る人がいます。ワクチンの効果は、70%と言われています。つまり、10人ワクチンをしたら、その内の3人位は、インフルエンザに罹ることがあるというわけです。あまり役に立たないのでないかと言われそうですが、そうでは有りません。ワクチンをした人は、罹つても非常に軽くてみます。熱も38度以上に上がることは少なく、脳症や肺炎になることは殆どありません。日本では妊婦や心臓などに病気を持っている人には、ワクチン接種は出来ませんが、アメリカでは、妊婦へもワクチンの接種を勧めています。今後日本も接種を勧める方向に向かうと思います。

### 問い ( ) インフルエンザの診断方法はどうなっていますか?

症状から、インフルエンザが疑われたときは、綿棒で鼻とどの奥をこすりその綿棒を、インフルエンザ迅速診断キットに入れると約10分でインフルエンザに罹っているかそれも、A型かB型今まで判ります。ただし、罹つて12時間以内のときは、偽陰性といって、本当は罹っているのに陰性に出ることがあります。その時は、症状からインフ

ルエンザと考えて治療を開始します。

### 問い ( ) インフルエンザの治療はどうなっていますか?

答え) 一般的な水分・栄養の補給、熱の時にはなるべく使わない安静に保ち(人に伝染させないために外出しない)、抗インフルエンザ薬を使います。抗インフルエンザ薬は罹つて48時間以内に使わないと効果がありませんので早期診断が大切です。抗インフルエンザ薬には、アマンタジン、オセタミビルとザミナビルの3種類あります。アマンタジンは一番古くからありA型にしか作用しません。その上、最近は耐性ウイルスが増えているため、あまり使われません。オセタミビルは使い易い薬ですが、脳症状が出ると言う疑いで、10歳代の青少年には原則使用禁止になっています。またB型には、効果がやや弱いといわれています。ザミナビルは、吸入薬なので、やや使いにくいのですが、効果は安定しています。漢方薬を希望する人には、麻黄湯、葛根湯、桂枝加葛根湯あるいは麻黄附子細辛湯などが、漢方的証に従って処方されますが通常量よりもかなり大量に処方されます。飲むときはお湯で飲まないと効果が悪くなります。

### 問い ( ) 新型インフルエンザとはどうなものですか?

答え) 症状から、インフルエンザが疑われたときは、綿棒で鼻とどの奥をこすりその綿棒を、インフルエンザ迅速診断キットに入れると約10分でインフルエンザに罹っているかそれも、A型かB型今まで判ります。ただし、罹つて12時間以内のときは、偽陰性といって、本当は罹っているのに陰性に出ることがあります。その時は、症状からインフ

日本にも入ってくるであろうと言わっていました。この病気は罹ると致死率は、40~60%という恐ろしい病気ですが、これはまだ新型インフルエンザではありません。人から人へどんどん伝染する様になつたら、そのとき新型インフルエンザに成ったと言えるのです。東南アジアでは絶えず患者が出ているのでまだ危険性が無くなつたわけでは有りませんが、人から人へと広がつてはいないので、当分は大丈夫でしょう。今流行している新型インフルエンザウイルスは、1918年に流行したスペイン風邪インフルエンザに別の3種類のウイルスがアメリカの養豚場の豚の体内で組み合わされて出来た新種と言われています。従つて、まだ誰も免疫を持っていないので大流行が起こっているのです。HA型は、1型ですがソ連型とは大分違うので、新型ワクチンで無いと効果が期待できません。65歳以上の人にはなぜかあまり罹る人がいません。幸いタミフルなどの薬はよく効くようです。致死率も高病原性鳥インフルエンザみたいに高いわけではありません。季節型とあまり変わりはないようです。致死率は、これまでのところ世界中どこでも確認はされていない。

400年も経つと大木ではあるが中は空洞になつているとのことである。尚熊本城のそれは二代目である。これもかなりなもので初代は西南の役で熊本城が攻撃される前日不審火で天守閣が焼失、木も一緒に枯れたとのことである。

正に遡る。加藤家が幕府により改易となり肥後の武士は浪人となつた。偶々清正の家来の飯田角兵衛がこの福岡で黒田長政に拾われ、家老級の重臣となりここはその居を構えたところである。では銀杏は何か?これは熊本城に行けば解る。城の天守閣や西側に大きな銀杏の木がある。

清正が築城の折りこの木を植えこの木が天守閣を越える高さになると城は滅びると言つたとか!角兵衛はこの故事にならつて銀杏をうえたらしい。

過去の歴史からみると、季節型インフルエンザA型は、新型Aと置き換わつたかも知れないが、B型インフルエンザは入れ替わつて消えてしまうことはないので今後流行すると思われる。

清正公時代から熊本は銀杏の木が多い。筆者も名は飯田であるが飯田ドンとは何の関係もない。

